

## 日本生命グループとの資本提携により、「産業創造インフラ」の社会実装を加速

地域の可能性を、新たな産業へ。STORIUMを通じて、地域の可能性を資金・人・機会へつなぐ

株式会社グランストーリー（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：越智敬之、以下「Grand Story」）は、日本生命保険相互会社（本店：大阪府大阪市、代表取締役社長：朝日 智司、以下「日本生命」）およびニッセイ・キャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：秋山 直紀、以下「ニッセイ・キャピタル」）と、資本提携（以下「本提携」）を締結しました。

本提携では、Grand Story が運営するソーシャルキャピタル・プラットフォーム「**STORIUM**」を核に、日本生命グループが全国各地で築いてきた地域との信頼基盤、金融機能およびネットワークと、Grand Story が培ってきた産業共創の知見、STORIUM が蓄積してきた一次情報、カタリストによる人的支援、テクノロジーを掛け合わせます。

地域で生まれる志ある挑戦に、必要な資金、パートナー、知見、機会が届き、その挑戦が新たな事業や産業へと育っていく環境を全国に広げることで、地域から新たな産業が生まれ続ける「産業創造インフラ」の社会実装を加速してまいります。



日本生命

### 地域の可能性を、新たな産業へ。

STORIUM を通じて、地域の可能性を資金・人・機会へつなぐ

## ■ 本提携の背景

日本各地には、世界に誇る技術を持つ企業やスタートアップ、先端的な研究に取り組む大学・研究機関、その土地ならではの産業、文化、暮らし、自然環境など、次世代へつないでいくべき多くの可能性があります。

一方で、地域、業界、組織、専門領域、立場といったさまざまな境界線によって、必要な情報や機会が届かず、本来出会うべき人や組織が出会えていないという「**情報と機会の非対称性**」が存在します。結果、優れた技術や志ある挑戦が、その可能性を具体的な事業や価値へと育てていくために必要な資金、パートナー、知見へ十分につながらないケースも少なくありません。

STORIUM は、スタートアップ、VC・投資家、事業会社、金融機関、自治体、大学・研究機関など、産業創造を担う多様なプレイヤーが参加する、招待・審査制のソーシャルキャピタル・プラットフォームです。

ここでいう「ソーシャルキャピタル」とは、単なる人脈ではなく、互いの背景や意志、強みを理解し、必要なときに人・知見・資本・機会へ継続的にアクセスし、意思決定や共創に活かすことのできる「関係資産」を意味します。

本提携を通じて、地域にすでに存在する信頼やつながりと、STORIUM を通じて育まれる関係資産を結び、一過性のマッチングや資金調達で終わることなく、その先の意思決定や共創を促し、新たな価値や産業が継続的に生まれる循環の創出を目指します。

---

## ■ 本提携を通じて実現を目指す3つのシナジー

### 1. 日本生命グループの全国ネットワークと、STORIUMの産業共創基盤をつなぐ

日本生命グループは、全国各地の地域金融機関、行政機関、地域企業などと長期的な関係を築いてきました。一方、STORIUMには、スタートアップ、VC・投資家、事業会社、金融機関、自治体、大学・研究機関など、次世代産業の創出を担う多様なプレイヤーが参加しています。

本提携では、日本生命グループが持つ地域との信頼やつながりと、STORIUMに集う産業創造プレイヤーとの接点を掛け合わせます。地域や業界、組織の境界を越えて、出会うべき相手と出会い、必要な情報や機会にたどり着ける環境を全国へ広げることで、投資、事業共創、新規事業、共同研究、地域連携など、新たな価値が生まれる可能性をひらいていきます。

### 2. 地域の志ある挑戦へ、資金が届く機会を広げる

日本生命グループが持つ金融機能や長期的な資金と、STORIUMを通じて見いだされる、地域企業やスタートアップが持つ技術・事業・人材の可能性をつなぎ、志ある挑戦へ資金が届く機会を広げます。

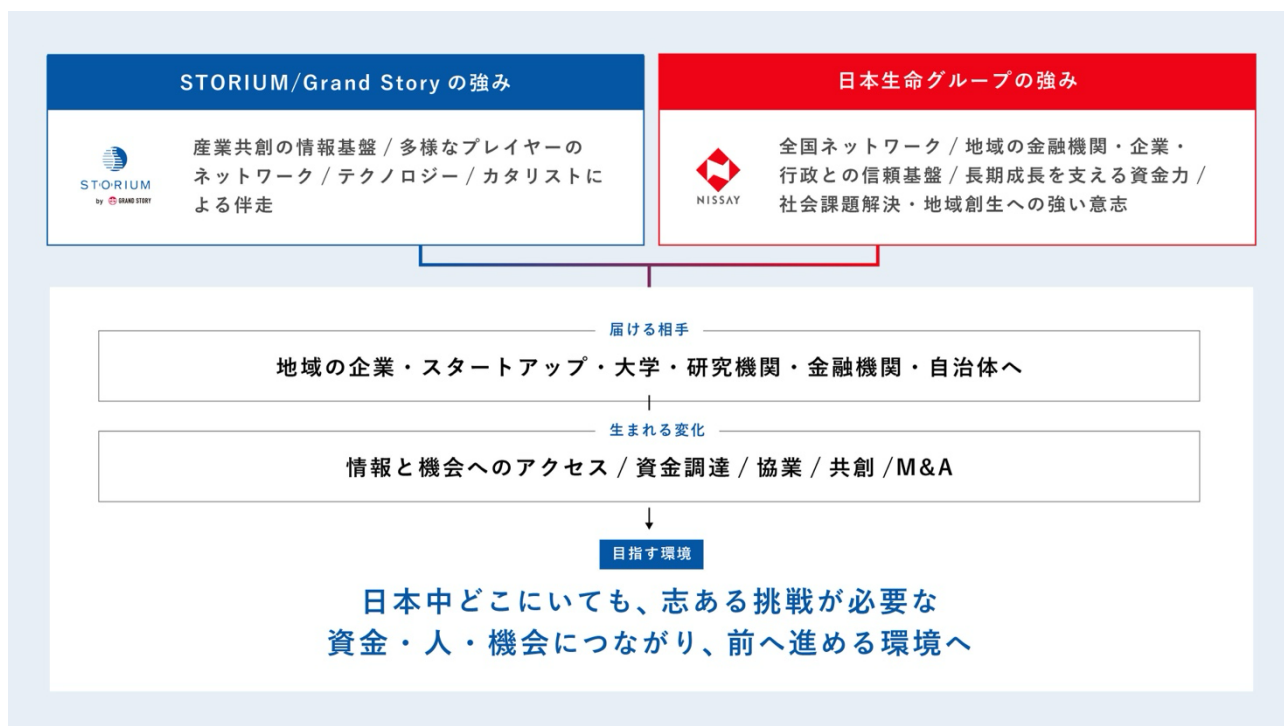
目指すのは、単なる資金提供ではありません。資金を起点に新たな事業連携や共創が生まれ、挑戦が地域の新たな価値や産業へと育ち、そこで生まれた成果が次なる挑戦へ還元されていく。そうした持続的な資金循環の形成を目指します。

### 3. 地域で産業創造を動かす「カタリスト」を育む

新たな産業を生み出すためには、資金やプラットフォームに加えて、地域企業が持つ可能性や本質的な課題を見だし、適切な人、事業、資本へとつなぎ、異なる立場の人や組織の間に対話を生み出しながら、共創を前へ進める「人」の存在が欠かせません。

Grand Storyでは、こうした役割を担う人材を「カタリスト」と呼び、スタートアップ支援や産業創造の現場で知見と実践を蓄積してきました。

今後は、日本生命グループと連携し、地域金融機関等を中心に、地域で産業創造を担うカタリストを育む仕組みを検討・推進します。将来的には、各地域のカタリストが地域を越えてつながり、互いの経験や学びを共有しながら、地域の産業創造とともに前へ進めるコミュニティへの発展も目指します。



[STORIUM／Grand Storyと日本生命グループの連携による価値創出モデル]

本提携は、STORIUMを通じて育まれるソーシャルキャピタルを全国へ広げる機会となると同時に、日本生命グループにとっても、地域金融機関や地域社会に対する新たな価値提供につながる取り組みです。

## ■ 本提携に対する各社代表のコメント

株式会社グランストーリー 代表取締役CEO 越智 敬之



日本各地には、世界に誇れる技術も、志ある人も、企業もあります。しかし、地域や業界、組織といったさまざまな境界によって、出会うべき人が出会えず、必要な情報や機会が届かないまま、多くの可能性が眠っています。

私たちが目指しているのは、資金調達やマッチングの件数を増やすことではありません。あらゆる境界線を越えて人と組織がつながり、互いを深く理解し、信頼をもとに意思決定を前へ進める。そこから共創が始まり、新たな産業が生まれ、その成果が次の挑戦へとつながっていく。そんな循環を日本各地につくることです。

日本生命グループは、長年にわたり全国の地域と真摯に向き合い、揺るぎない信頼を築いてこられました。今回、その信頼基盤と金融の力に、Grand Storyが培ってきた産業共創の知見、STORIUMが育んできた関係資産、一次情報、テクノロジー、そしてカタリストをはじめとする人の力を掛け合わせられることを、大変心強く感じています。

### 信頼を、新しい産業に。

地域に眠る可能性をひらき、志ある挑戦から新たな産業が生まれ続ける未来を、日本生命グループの皆さまとともにつくってまいります。

---

## ニッセイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 秋山 直紀 様



私たちは、日本生命グループのベンチャーキャピタルとして、日本全国の有望なスタートアップに成長資金を届け、その挑戦を長期的に支えていくことが重要な役割であると考えています。一方で、全国各地に点在するスタートアップと幅広く接点を持ち、その可能性を的確に捉えていくことは、私たちだけでは容易ではありません。

そうした課題意識を持つ中で、企業や投資家が単に出会うだけでなく、互いの背景や挑戦への理解を深め、対話を重ねながら次の意思決定へとつなげていく、Grand Story の考え方とSTORIUM の取り組みに深く共感するとともに、大きな可能性を感じています。

日本のスタートアップ・エコシステムがさらに発展するためには、地域や業界を越えて情報や機会が行き交い、志ある挑戦が、それを支える適切なパートナーや資金とつながる環境をつくっていくことが、これまで以上に重要になると考えています。

本提携を通じて Grand Story との連携をさらに深め、STORIUM の成長と、日本各地から新たな産業が生まれ、地域経済の活性化に貢献する取り組みができることを大変嬉しく思います。

## ■ 日本生命保険相互会社 責任投融資推進室 室長 宮本 泰俊 様



日本生命は、長期的な視点でお客様や地域社会と向き合い、地域の持続的な発展に貢献することを重要なテーマの一つとして取り組んでまいりました。

地域には、企業、スタートアップ、大学・研究機関など、将来の産業や暮らしを支える多くの可能性があります。そうした可能性を広く社会へつなぎ、適切な資金やパートナーとの接点を生み出すことは、地域の持続的な発展において重要だと考えています。

人・組織・地域の可能性を信頼によってつなぎ、新たな価値や産業へと育てていく Grand Story の考え方は、当社が目指す方向とも高い親和性があります。

本提携を通じて、当社が培ってきた地域との信頼やネットワークと、STORIUM が持つ産業共創の基盤を掛け合わせ、日本各地の志ある挑戦を支え、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

## ■ Grand Storyが実現したい未来——「資金調達」で終わらず、その先から産業創造が始まる

Grand Storyは、人・組織・地域間に存在する「情報と機会の非対称性」を解消し、志ある人の可能性を解き放つ、価値ある出会いを届けることを目指しています。資金調達や新たなパートナーとの出会いは、ゴールではなく、産業創造の起点です。相互理解と信頼をもとに意思決定が前へ進み、共創が生まれ、新たな価値や産業が次の挑戦へとつながっていく。Grand Storyは、この循環を日本各地へ広がっていきます。



[信頼を起点とする産業創造の循環]

この循環において、地域金融機関は、単に資金を提供する存在にとどまりません。人・組織・地域に眠る可能性を見だし、必要な資金や知見、パートナーへとつなぐことで、地域産業創造を前へ進める重要な起点になり得ると考えています。

---

## ■ 地域から、新たな産業が生まれ続ける社会へ

Grand Storyは、本提携を契機に日本生命グループとの連携を深め、全国各地で産業創造を支える基盤づくりを進めてまいります。

今後は、地域金融機関との連携拡大、自治体・大学・地域企業などを含む地域エコシステムの形成、地域を越えた産業共創の促進に取り組めます。さらに、AIとデータを活用した情報流通、パートナー探索、意思決定支援の高度化を進めるとともに、地域で産業創造を担うカタリストの育成についても、日本生命グループをはじめとするパートナーと連携し、検討・推進してまいります。

Grand Storyの原点にあるのは、「**信頼を、新しい産業に。**」という考えです。

---

## ■ ソーシャルキャピタル・プラットフォーム「STORIUM」について

STORIUM は、スタートアップ、VC・投資家、事業会社、金融機関、自治体、大学・研究機関など、産業創造を担うキーパーソンが参加する招待・審査制のソーシャルキャピタル・プラットフォームです。現在、約 1,000 社・団体が参加しています。

カタリストが企業や組織と直接向き合うことで得られる、公開情報だけでは捉えきれない課題や意向、探索テーマなどの一次情報を、独自の情報設計によって構造化。AI をはじめとするテクノロジーと、カタリストによる人的な伴走支援を組み合わせることで、資金調達、事業提携、共同研究、新規事業などにつながる価値ある出会いを創出します。

そこで蓄積されるのは、単なる人脈ではなく、必要なときに信頼できる人・組織、知見、資本、機会へアクセスし、意思決定や共創に活かすことのできる「関係資産」です。

こうしたソーシャルキャピタルを育み、必要なときに活かせる状態をつくることで、投資、事業連携、共同研究などの意思決定と共創を前へ進め、その先に新たな産業が生まれ続ける「産業創造インフラ」となることを目指しています。

STORIUM : <https://storium.jp>



Grand Story / STORIUMを推進するメンバー

---

## ■ 各社概要

### 日本生命保険相互会社

本店所在地：大阪府大阪市中央区今橋三丁目5番12号

代表者：代表取締役社長 社長執行役員 朝日 智司

創立：1889年7月4日

事業内容：生命保険業（生命保険の引受け、資産の運用）、付随業務・その他の業務

URL：<https://www.nissay.co.jp/>

### ニッセイ・キャピタル株式会社

所在地：東京都千代田区丸の内二丁目3番2号 郵船ビルディング4階

代表者：代表取締役社長 秋山 直紀

設立：1991年4月

事業内容：ベンチャー企業への投資・経営支援および投資事業有限責任組合の運営

URL：<https://www.nissay-cap.co.jp/>

### 株式会社グランストーリー

所在地：東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門一丁目ビル11F

代表者：代表取締役CEO 越智敬之

設立：2019年5月8日

事業内容：ソーシャルキャピタル・プラットフォーム「STORIUM」の開発・運営、産業共創支援

URL：<https://grand-story.jp/>

---

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社グランストーリー 広報担当：Viyulina Nikolova

E-mail：[info@grand-story.jp](mailto:info@grand-story.jp)